

年 度	2022 年度		
科 目	電子回路応用Ⅱ		
担 当	松尾 雅純	使用教室	32 教室
実務経験	松下電器産業(株)(現パナソニック)にてガス機器商品の物作りを30年間、営業所(OBPにて)で8年間、営業窓口、販売計画と促進業務を担当する。		
種 別	前期 ・ レ後期 ・ 通年		
到達目標	自らのアイデアと工夫を行い自分好みの電気製品を作り上げる。自分で設計するもよし、参考書等を活用し自由に製品を作り上げて自作の楽しみ、喜びを感じ取る。		
資格実施月	無し		
評価方法	定期考査(各期の中間、期末)の成績(70%)と平常点(出席状況、授業態度等)30%の合計点		
教科書等	電気工作の職人技 (高瀬和則著)		
授業計画	<p>電気回路図を見て、その機能、構造を理解してそれを一つの「物」として各部品を組み合わせて商品化させる。オリジナリティの有る物作りで完成の喜びを体験させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1週から第2週 (10/5~10/13) 前期で製作した商品の欠点を排除しながら新たな考えの下、違った系統の商品作りにチャレンジする。(4日間) 第3週から第4週 (10/19~10/27) 文献や技術資料に記載されている製作図面を見て、電気回路図を理解し、その動きや働きを把握出来る様にする。(4日間) 第5週から第6週 (11/2~11/10) 自分が作りたい商品の決定。必要部品の選定と調達。(3日間) 第7週から第12週 (11/16~12/21) 回路図に従って工具、半田ゴテを使用して作品を作り上げる。(10日間) 第13週から第14週 (1/11~1/19) 完成した段階でその機能、性能を確認させる。(4日間) 第15週 (1/25~1/26) 上手く作動しない場合はその原因を追求して、それを修復させる。(2日間) 1/29(日)の学習成果発表会に全員の前期、後期2作品を展示する。 <p>部品の調達予算 ★ 1作品を完成させる為の部品費用として2000円/半期のベースで完成させる。</p>		